

2011 賀川記念館 since 1909

KAGAWA MEMORIAL HALL

総合研究所 《講座》《研修》《研究》 公開プログラム

リーダーシップ養成

東日本大震災をどのように受け止めたらよいのでしょうか。また、地域にどのように向き合うことができるのでしょうか。

私たちに与えられたさまざまな課題を学ぶプログラムを用意いたしました。ともに学び、ともに語り合い、ともに生きるために、賀川記念館と一緒に歩みませんか？

暮らしと火水木風土



兵庫県漁業協同組合連合会が推進する

SEAT CLUB

<http://www.seat-sakana.net/>

は明石海峡を臨む素敵なキッチンスタジオで料理教室を開催しています。



食卓感覚で楽しく学ぶ環境意識



兵庫県は日本海と瀬戸内という2つの大きな漁場を持ちます。その両方の漁業協同組合を統括している連合会の突々さんが「わたしたちの街を流れる河川や、家庭排水をきれいにして流す浄水場から海に流れ出す水がきれいすぎる。土砂も来ないから浜も維持できない。」といいます。

そんな突々さんに漁業の現場や、魚のさばき方などを学ぶ料理教室のエピソードから日頃感じておられる循環するべき環境をご紹介していただくときを設けました。環境を守ることも料理も「塩梅」が大切のようです。

家庭でも、また保育や教育現場でも自然環境とともに生きることが求められています。ぜひご参加くださり、一緒に楽しく循環社会を学びましょう。



現代社会とキリスト教

地域とつながる

賀川と差別

わたしたちの食卓には、瀬戸内の海のもの盛り沢山。そしてわたしたちの街に降った雨も家庭排水も、瀬戸内に流れ込みます。つまり、あなたの暮らしも、わたしの暮らしもすべてが直接、瀬戸内の海と繋がっていて、わたしたちの暮らし方次第で、食卓にのぼる魚や貝や海苔などが大きく変化します。

わたしたちはこのことをよく把握して水質保全に努めてきました。しかし、どうもやり過ぎてしまったかも知れません。

どうしたらよいのか水質保全
自然環境との向き合い方を再考します

漁が語る海の実情 瀬戸内からの警告

講師 **とつとつ きよし 突々 淳** 兵庫県漁業協同組合連合会 参事

9/18

2011年 9月 18日(日) 15:00 ~ 16:30

会場：賀川記念館 4F メモリアルホール

神戸市中央区吾妻通 5-2-20

事務局：電話：078-221-3627

E-mail：office@core100.net

参加費：500円 (参加お申し込みは賀川記念館事務局まで)